

令和5年度 前期学校評価考察

文責 教頭 笹本 信仁

はじめに

本校では、これまで長年にわたり【やる気・元気・根気・勇気・思いやり】の「五本の木」が校訓として受け継がれてきている。この校訓を受けて、「学びを深め、豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成」を学校教育目標に掲げ、学校長をリーダーに全職員が一丸となって児童の育成に携わっている。また、白根東小学校の目指す児童像は、「情報や考えなどを的確に理解し、判断の根拠や理由を明確に示しながら、自分の考えを述べることができる児童」である。さらに、小中一貫校の目指す児童生徒像「思いやり、創造力、すこやかな体を持ち、未来を担う白根こっま子」も念頭に入れ、これらの目標を実現するために、教職員一人ひとりが日々の教育活動に取り組んでいる。

学校評価は、学校教育目標及び目指す児童像に対しての課題を検証し、成果を上げていくための指標とするものである。したがって、結果をしっかりと検証し、次につなげる貴重な機会であるにとらえ、そこから見えてくる・見つけられる事実としっかりと向き合っていく必要がある。

「A」（あてはまる）「B」（どちらかというにあてはまる）を肯定的意見、「C」（どちらかというにあてはまらない）「D」（あてはまらない）を否定的意見ととらえると、自己評価（教職員）はすべての項目について肯定的評価が100%に達している。また、児童アンケートも二つ以外の項目で90%を超えており、全体的にみておおむね満足できる状態であるといえるが、課題等もあるため、2学期以降の取組に生かしていくことが大変重要なことである。

<自己評価における課題等>

- ① No1「学校教育目標・目指す児童像・校訓を意識して、教育活動を進めている」においては、A評価が56%・B評価が44%という結果であり、昨年度より大きく減少している。様々な場面において取り上げて教職員の意識を高めていく必要がある。よい学校を創るためには、教職員が同じ方向を目指して教育活動を進めていく必要がある。2学期以降、全教職員が学校教育目標・目指す児童像・校訓をさらに意識し、教育活動を進めていきたい。
- ② No2「マネジメントサイクル（PDCA）で、よりよいものに改善を図ろうとしている」においては、A評価が67%・B評価が33%という結果である。各種取組や行事等の後には必ずアンケート等を実施し、今後の活動に生かしている。それぞれのアンケート結果等を次につなげるようさらに意識し、PDCAサイクルを実行していく必要がある。
- ③ No3「他の教職員と連絡調整・コミュニケーションを図りながら（組織的・協働的に）教育活動にあたっている」においては、A評価が81%、B評価が19%となっている。低い数値ではないが、昨年度はA評価が100%であった。教職員がコミュニケーションをとり、互いに理解し合いながら、教育活動を進めることはとても重要である。また、教職員が連携している姿は児童や保護者への信頼にもつながる。今後も連絡調整・コミュニケーションを丁寧に行いながら教育活動を進めていきたい。

- ④ No.4「学校評価・一校一実践・一人一実践・人事評価制度・校内研・各種研修を通し、自分を磨き高めようとしている」においては、A評価が44%、B評価が56%と低い評価になっている。教師は、急激な教育内容の変化の中で、自分の力量を高めるために常に研修等を通して研鑽を積んでいかなければならない。また、人事評価や学校評価についても真摯にとらえ、前向きに取り組んでいかなければならない。校内研究等、2学期は大きな成果を上げるチャンスのある学期でもある。教職員一人一人が主体的に取り組む、成果を上げていきたい。
- ⑤ No.6「基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を目指した指導に努めている」(A評価86%)に表れているように、基礎基本の指導を大切にされた授業を行っていることが分かる。子供たちにとって「授業が分かった」と感じさせることが一番大切なことである。その喜びが学習意欲につながり、次へのステップにつながっていく。そういう意味で、基礎的・基本的な内容の理解は大切であるため、引き続き、基礎的・基本的な指導に努めていきたい。
- ⑥ No.7「関わり合い・高め合う子供たち」(校内研テーマ)を通して、思考力・判断力・表現力及び主体的な学習態度の育成に努めている」の各項目において、A評価が59%、B評価が41%という結果である。昨年度より若干数値は上がっているが、新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、話し合い活動等、関わり合う活動は増えたものの、1学期においてはまだまだコロナ禍前のような自由な活動には至っていない。
- GIGA スクール構想は3年目を迎え、一人一台端末利用による新しい学習スタイルも定着し、多くの授業で端末を利用している。引き続き、効果的な利用について研究を深め、新しいスタイルの「関わり合い・高め合う子供たち」の授業づくりも進めていきたい。
- ⑦ No.8「学校がきっかけをつくり、保護者とも連携し、児童の学習習慣が確立するよう努めている」において、A評価が63%、B評価が37%となっている。昨年より数値は上がっている。今年度は1学期から「家庭学習がんばろう週間」を設けて取り組んだ成果もあると考える。児童の学力を上げるためには、保護者と連携し、保護者の力も借りながら学習を進める必要がある。
- ⑧ No.9「児童理解に基づき、ルールとリレーションのある学級・学年・集団づくりに努めている」とNo.11「生徒指導・特別支援の観点に立ち、児童特性に応じた(組織的な)指導に努めている」においては、A評価が73%・68%という結果である。1学期は大きな問題もなく、まとまりのある学年・学級づくりが行われていたと感じている。2学期は運動会や音楽発表会等があり、様々な場面での成長が期待できる一方、トラブルも発生しやすいときでもある。児童一人一人をしっかりと理解し、それぞれに応じた指導を心掛けながら教育活動を進めていく必要がある。校内委員会やケース会議等も効果的に生かしてさらに児童理解を深めていくことも大切である。

⑨ No.12「小中一貫校として目指す児童生徒像を理解し、そのための取組や教育課程を理解して行っている」においては、昨年度より数値は改善されているが、A評価が38%・B評価が63%という結果であった。『小中一貫校 南アルプス市立白根東小学校』としてスタートして2年目を迎えている。3校合同での年3回の研究会を開始し、白根巨摩中学校を中心に、白根飯野小学校と3校で連携しながら教育活動を進めている。昨年度は、小中合同のあいさつ運動や6年生と中学生の合同合唱発表会も行われ、好評であった。今後も教職員が小中一貫校としての理解を深め、9年間を通して児童生徒を育てているという意識をもちながら、各専門部の取組を確実に進めていくことが求められている。

⑩ No.13「保護者・地域との連携・協力を努めている。」のA評価は50%である。言うまでもなく保護者や地域と連携しながら教育活動を進めることは、信頼ある学校を創っていくうえで必要条件である。学校だより、学年・学級通信、ホームページなどを使って情報発信をすることで、学校生活を保護者や地域の方に理解していただいていると理解はしている。今後も「開かれた学校」を念頭に入れ、保護者や地域の方々との連携を深め、「地域と共に育つ子供」【共育】を合言葉に連携を強化していきたい。

<児童アンケートにおける課題等>

① No.1からNo.5では、校訓である「やる気」「元気」「根気」「勇気」「思いやり」について、子供たちが自己評価している。A評価の高い順に「元気」(83%)「思いやり」(79%)「勇気」(72%)「根気」(71%)「やる気」(69%)となっている。5項目すべてにおいて昨年度より上がっている。完全とは言えないが、コロナが5類感染症になり、様々な場面で子供たちが活発に活動できている証拠ではないかと思う。今後も、「この場面では〇〇が必要だね。」「〇〇が身についてきたね。」など、具体的に子供たちの学習や活動場面において「五本の木」を意識した評価をしながら、校訓である「五本の木」をイメージしながら取り組んでいきたい。

一方、令和5年度の児童会スローガン「笑顔かがやく東っ子！大きく育て！五本の木」にあるように、毎年、児童会活動を通して「五本の木」が大きくなっていくことを活動目標に入れている。この校訓は子供たちの中にも定着し、本校の活動の大きな支柱になっている。教職員や保護者、友達同士の評価を通し、自己肯定感・自己有用感を高めていくことも大切なことである。今後も、この校訓を通し、子供たちのさらなる成長を育てていきたい。

② No.6「学校が楽しいですか。」においては、A評価が昨年度より10%上がり、76%という結果であった。しかしながら、CとD評価の合計が6%となっていることは気になることである。この6%と回答した児童全員には、担任等から理由等を聞きながら話をしてもらっている。90%の児童は肯定的であるが、全校児童が白根東小学校に行きたくなくなるような学校づくりをさらに進めていきたい。今年度の学校創り方針にある『笑(しょう)・楽(がっ)・幸(こう)』、「笑いの絶えない学校」「楽しく過ごせる学校」「幸せを感じられる学校」を目指し、教職員全員で力を合わせてさらにより東小学校を創っていきたい。そのために、児童に寄り添いながら、温かい学級づくりの充実に努め、一人ひとりに自分の居場所がある学校生活を創っていきたい。

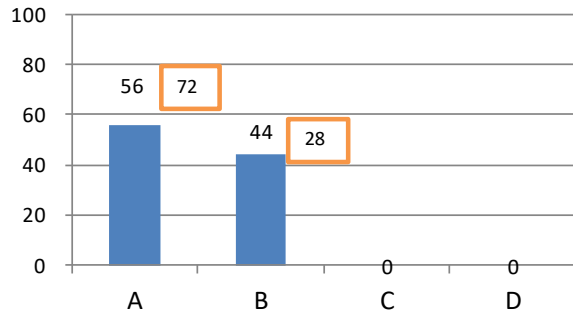
また、授業においては「できた」「分かった」を実感できる【授業づくり】を両輪にして、充実した学校生活を送れるようにしていきたい。

- ③ No.8「授業はわかりますか。」のA評価72%・B評価24%と高評価となっているが、No.10「授業（勉強）でわからない時には、先生に聞いていますか。」においては、12%の児童がCとDの評価となっている。「わかる授業」づくりを一層進めていきながら、分からないところは聞ける力も身に付けさせる必要がある。同時に、一人一人に寄り添いながら丁寧な対応も心掛けていきたい。
- ④ No.11「授業中に、手をあげたり自分の考えを言ったりしていますか。」の項目では、A評価は49%で、全項目の中で最も数値が低い。全体の場での発言に抵抗を感じている児童も18%いる。みんなの前で発言することがすべてではないが、本校の目指す児童像は「情報や考えなどを的確に理解し、判断の根拠や理由を明確に示しながら、自分の考えを述べることができる児童」とあるように、自分の考えを発表する力はこれからの社会で必要になってくる。友達の考えを受け入れる姿勢や安心して考えを伝え合える学級を創っていくことも大切である。
- また、一人一人の児童が、様々な場所で発言や活躍する場面を設定し、自信をつけさせていくことも必要になってくる。運動会や音楽発表会等、2学期には多くのチャンスがあるので、教師側でしっかり仕組んでいきたい。
- ⑤ No.12「学校や社会のきまりや約束事を守っていますか。」においては、A評価75%・B評価21%となっており、児童のほとんどがきまりや約束事を守って生活をしていることがわかる。この気持ちを維持できるよう引き続き、様々な機会を通して教育活動を行っていきたい。
- ⑥ No.13「学校での様子を、家の人に話していますか。」のA評価は70%でここ数年同じような割合であり、学年や個人によって違いはあるが、学校と保護者との情報共有という点からはもう少し数値を上げたい。No.14「家の人に、学校からの便りなどを渡していますか。」のA評価は87%で、ある程度の情報は伝わっていると思われるが、家庭内で学校のことを話す機会を意図的に確保できるようにしたい。情報不足による「知らない」ということから様々な不安や心配事が発生しがちであるため、何かあったときには積極的に保護者に連絡をしていきたい。
- ⑦ No.16「自分のケータイまたはスマホを持っていますか。」は、「持っている」と回答した児童は35%であった。学年が上がるにつれて所有率は高い。No.17では、持っている児童に対して「ケータイまたはスマホを使う時の家のルールはありますか。」では、「ある」という回答が72%となっている。近年、SNS上のトラブルや事件が多くなってきていることが懸念される。6月には5・6年生を対象に、県教委から講師を呼んで「ほっとネットセミナー」を行った。今後も、様々な機会を通して注意喚起等を学校でも行っていきたいと思う。また、学校からコンピュータを持ち帰るにあたってのルールも参考にいただき、ケータイやスマホにおいても保護者の管理下に置いて、ルール等を決めていただきたいと思う。

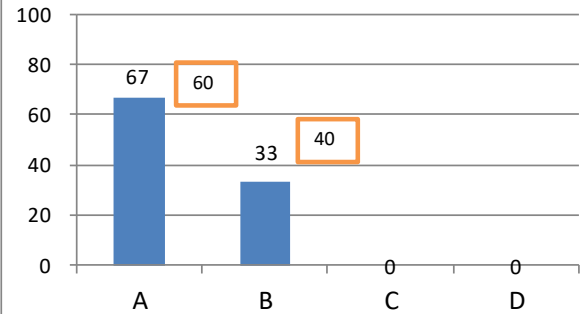
令和5年度 教師の評価集計(前期)

□ は前年度の%

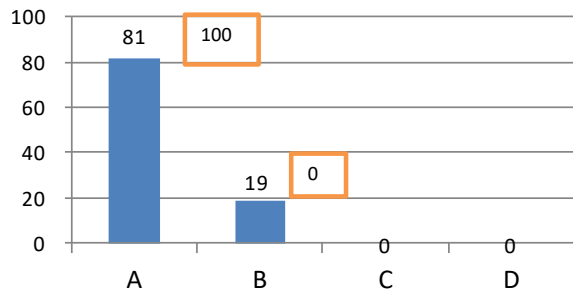
1 学校教育目標・目指す児童像・校訓を意識して、教育活動を進めている。



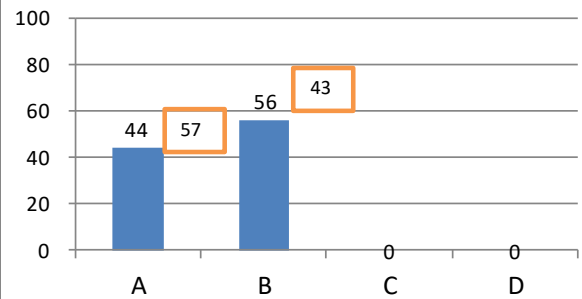
2 マネジメントサイクル(PDCA)で、よりよいものに改善を図ろうとしている。



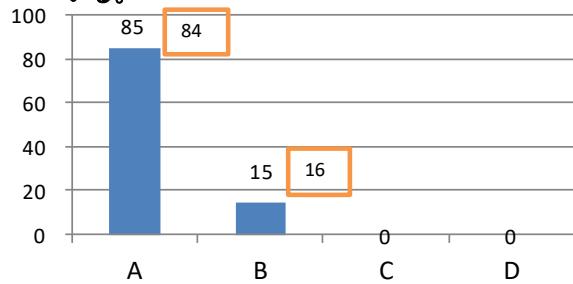
3 他の教職員と連絡調整・コミュニケーションを図りながら(組織的・協働的に)教育活動にあっている。



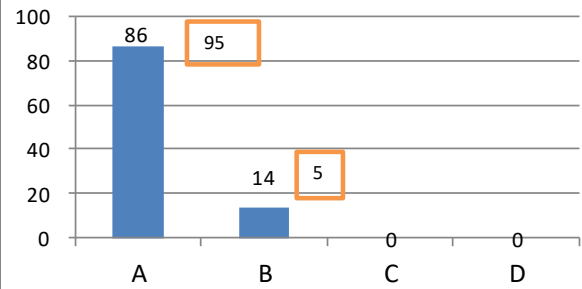
4 学校評価・一校一実践・人事評価制度・校内研・各種研修を通し、自分を磨き専門性を高めようとしている。



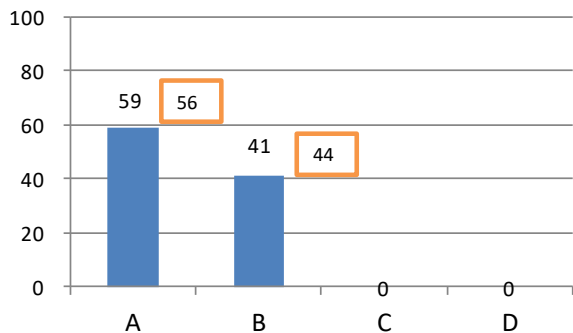
5 危機管理(事故・加害行為・災害・個人情報・綱紀保持等)を意識し、教育活動等にあっている。



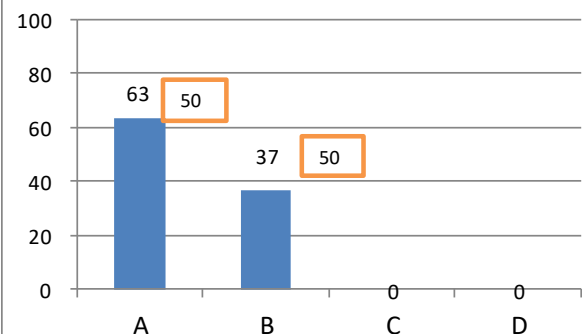
6 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を目指した指導に努めている。



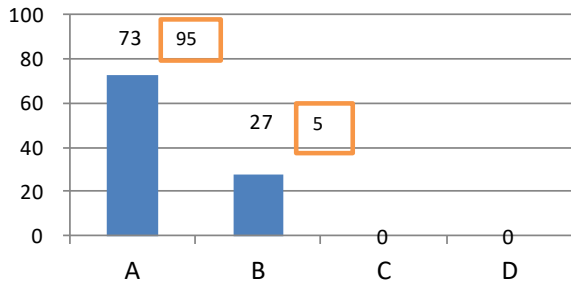
7 「関わりあい高めあう」授業(校内研テーマ)を通して、思考力・判断力・表現力及び主体的な学習態度の育成に努めている。



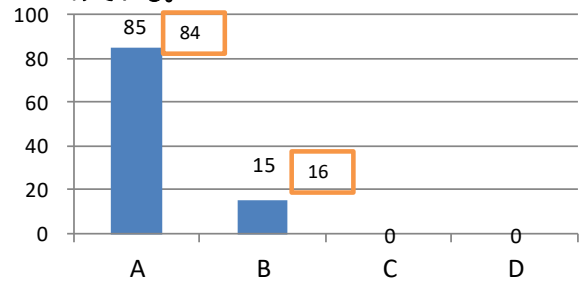
8 学校が「きっかけ」をつくり、保護者とも連携し、児童の学習習慣が確立するよう努めている。



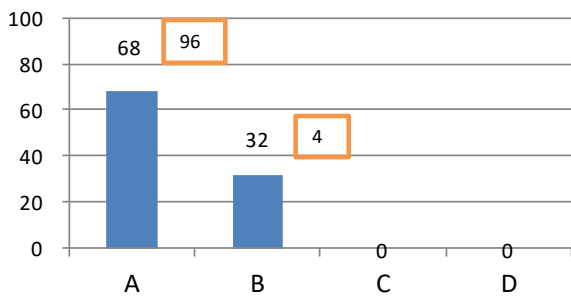
9 児童理解に基づき、ルールとリレーションのある学級・学年・集団づくりに努めている。



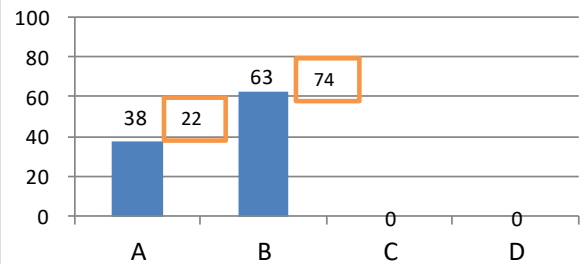
10 いじめ・不登校・問題行動・トラブル等の未然防止並びに発生した場合の適切な対処に努めている。



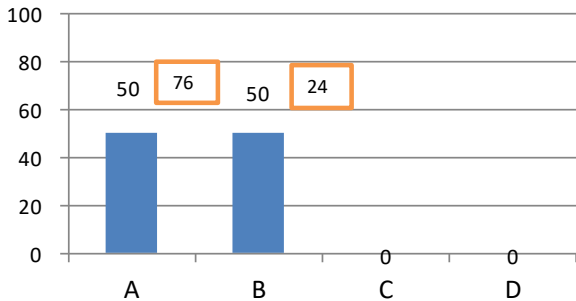
11 生徒指導・特別支援の観点に立ち、児童特性に応じた(組織的な)指導に努めている。



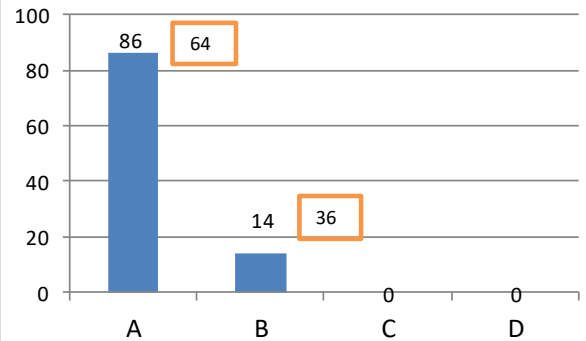
12 小中一貫校として目指す児童生徒像を理解し、そのための取組や教育課程を意識して行っている。



13 保護者・地域(及び関係機関)との連携・協力を努めている。



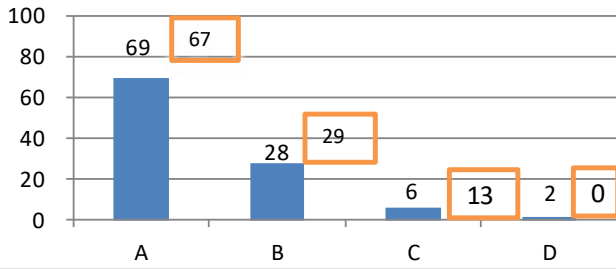
14 白根東小はいい学校だと思う。



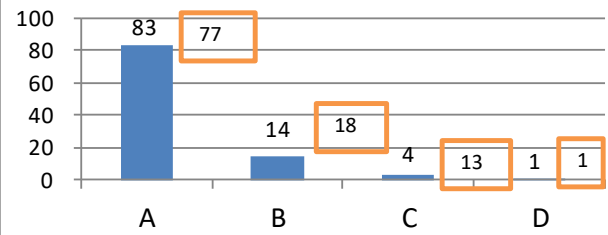
令和5年度児童アンケート集計(前期)

□ は前年度の%

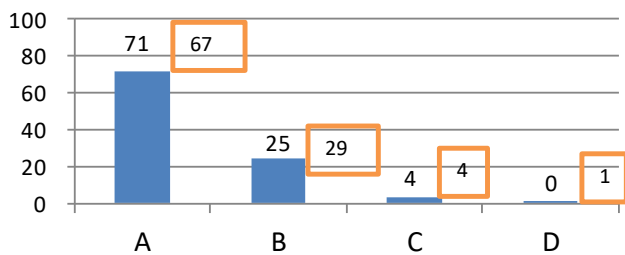
1 いろいろなことに「やる気」をもって取り組んでいますか。



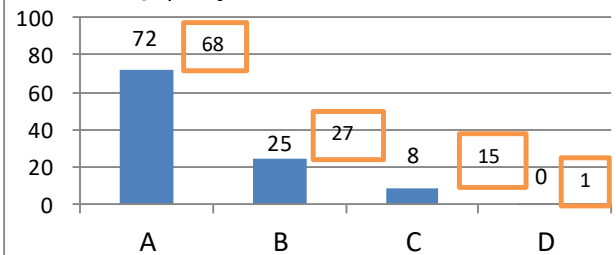
2 いろいろなことに「元気」に取り組んでいますか。



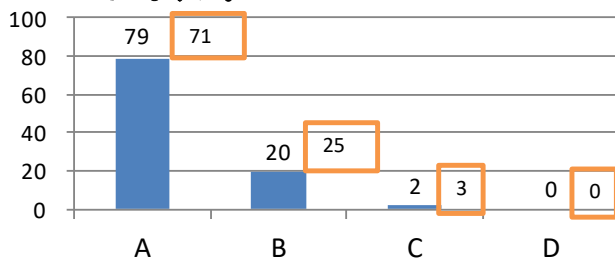
3 いろいろなことに「根気」をもって取り組んでいますか。



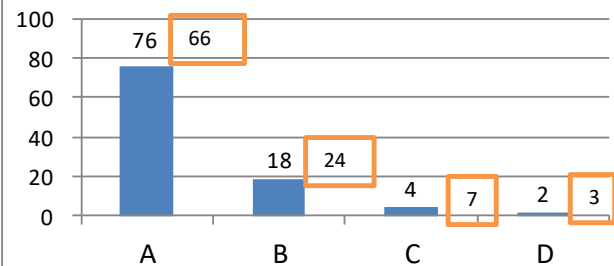
4 いろいろなことに「勇気」をもって取り組んでいますか。



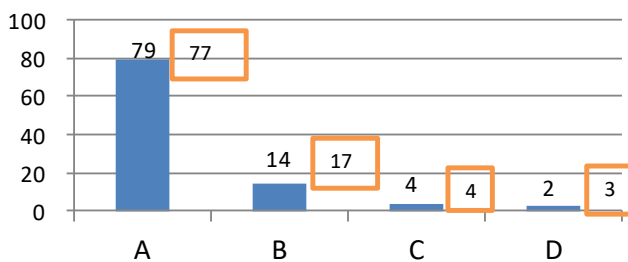
5 「思いやり」の心をもって人やものごとに接していますか。



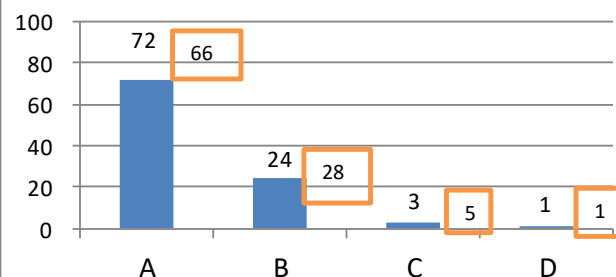
6 学校が楽しいですか。



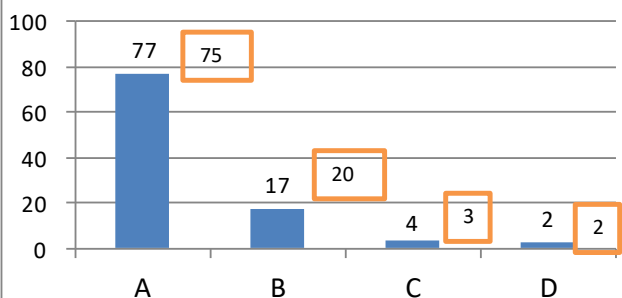
7 7分らない時・困ったときに、話しかけられる友達がいますか。



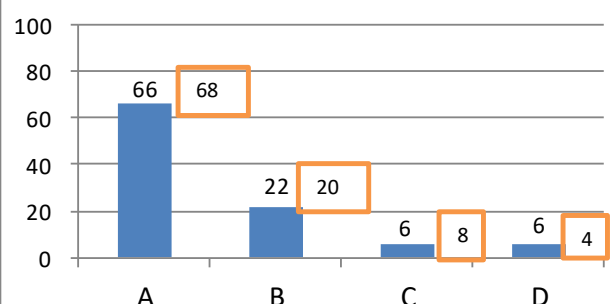
8 授業は、わかりますか。



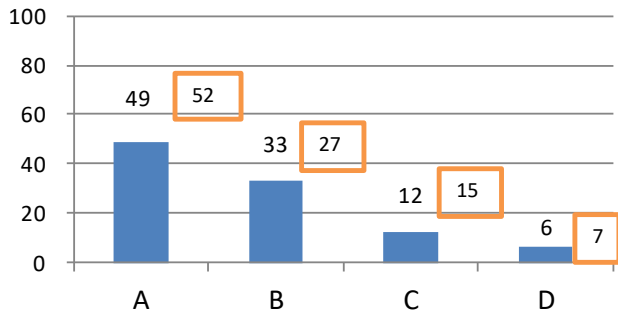
9 9分らない時・困ったときに、話しかけられる先生がいますか。



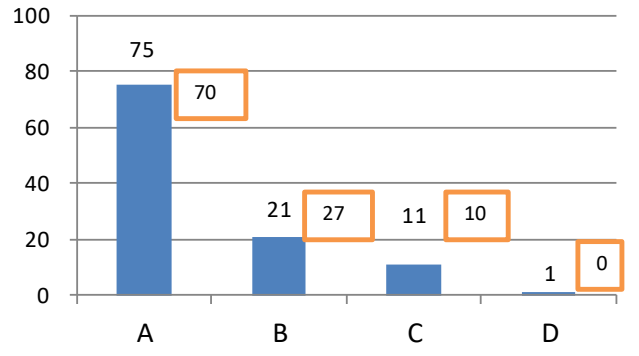
10 授業(勉強)でわからない時には、先生に聞いていますか。



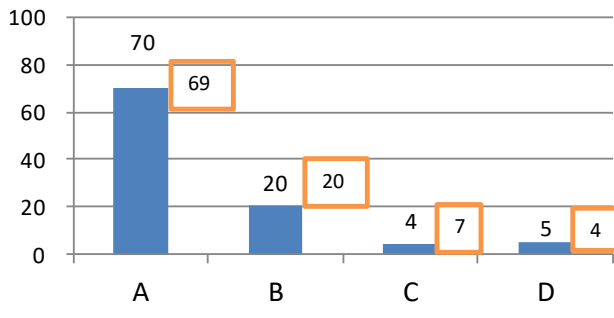
11 授業中に、手をあげたり自分の考えを言ったりしていますか。



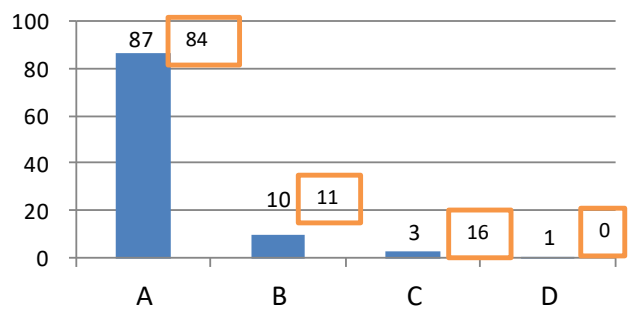
12 学校のきまりや約束事を守っていますか。



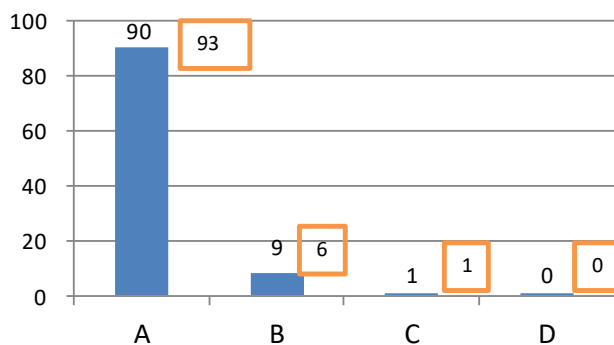
13 学校での様子を、家の人に話していますか。



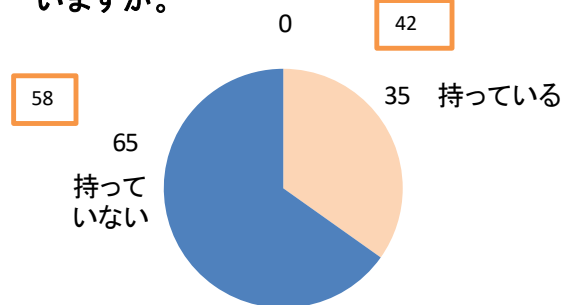
14 家の人に、学校からのたよりなどを渡していますか。



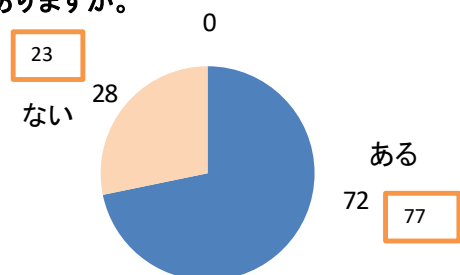
15 朝ごはんを食べて登校していますか。



16 自分のケータイまたはスマホを持っていますか。



17 持っている人だけ→ケータイまたはスマホを使う時の家のルールはありますか。



学校で一番楽しみなこと（R5 前期児童アンケートから）

*数字は回答人数（複数回答者あり）

【1年生】

- ・給食7
- ・プール5
- ・友達に会える5
- ・国語4
- ・体育4
- ・学活3
- ・図工4
- ・休み時間3
- ・算数2
- ・授業1
- ・水遊び1
- ・音楽1
- ・先生に会える1

【2年生】

- ・休み時間10
- ・体育9
- ・図工5
- ・プール4
- ・友達と話すこと4
- ・図書の時間3
- ・給食2
- ・算数2
- ・国語1
- ・テスト1
- ・授業1
- ・学活1
- ・地区探検1
- ・そうじ1
- ・運動会1

【3年生】

- ・体育10
- ・休み時間9
- ・図工5
- ・友達に会う4
- ・授業3
- ・給食3
- ・先生に会う3
- ・図書2
- ・算数1
- ・運動会1
- ・修学旅行1

【4年生】

- ・休み時間14
- ・給食6
- ・校外学習4
- ・運動会4
- ・図書3
- ・友達に会う3
- ・リコーダー2
- ・図工2
- ・給食1
- ・プール1
- ・テスト1
- ・先生に会う1
- ・虫の飼育1
- ・総合の時間1

【5年生】

- ・友達に会う9
- ・友達と話す8
- ・休み時間7
- ・体育4
- ・プール2
- ・友達と遊ぶ2
- ・図工2
- ・理科1
- ・家庭科1
- ・友達と勉強する1

【6年生】

- ・友達と話す12
- ・休み時間7
- ・体育3
- ・給食2
- ・レク2
- ・運動会2
- ・友達と遊ぶ2
- ・児童会活動2
- ・読書2
- ・クラブ1
- ・音楽1
- ・図工1
- ・校外学習1